

近事研

近畿 ねっとわーく

第55号

2014. 7. 28

～ 編集・発行 ～

近畿公立小中学校事務職員研究会

会長 西畑 ひろみ

所在地 香芝市立三和小学校

奈良県香芝市良福寺665-2

0745-76-5260

<http://www.kinjiken.jp/>

ごあいさつ

近畿公立小中学校事務職員研究会

会長 西畑 ひろみ

盛夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は近事研活動にご協力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

近事研の目的は「単位研究会ならびに会員相互の密接な連携と協力をもとに、自主的かつ主体的な研究・研修活動の推進をもって学校事務の近未来を展望し、学校事務職員の能力や資質向上をはかる」ことです。24・25年度の近事研活動は、その目的に沿って平成25年10月の代議員会に始まり、学校事務セミナーやサマーフォーラムの開催、ねっとわーく近畿の発行、調査研究部・研究大会実行委員会の活動をおこなってきました。そして、来る8月19日には神戸市の神戸新聞松方ホールに於いて「第12回近畿地区公立小中学校事務研究大会神戸大会」を開催します。この2年間、各单位研究会から集まって組織された実行委員会では大会開催に向けて

会議を重ねてきました。同じく調査研究部もこの大会に照準を合わせて研究を重ねてきました。どちらも参加いただく方々にとって「意欲」「ヒント」「つながり」「未来への手ごたえ」が得られるような内容にしたいという熱い思いでここまで進めてきました。一人でも多くの方にご参加いただき、大会を盛り上げていただきたいと願っております。

さて、近事研の活動年度は9月に始まり翌年の8月で終わります。それは研究大会やサマーフォーラムを活動の節目としているからですが、今年の研究大会が終わると役員2年任期も終了します。この2年間の活動でどれだけの成果があったかはすぐに答えが出るものではありませんが、このように近畿という単位での研究会組織は、先輩方に残していただいた本当に大きな「財産」だと感じました。それぞれの地域の特異性を認め合いながら、学校事務・学校事務職員の未来を共に語り合えるこの場を大切に、近事研と単位研究会の間で活動内容を循環させていくことで、事務研活動の活性化が図られると考えます。今後とも近事研活動にご支援ご協力をお願いします。



奈良県公立小中学校事務研究会

研究主題「これからの学校経営を担う学校事務の探求」

児童生徒の健全なる育成、危機管理を踏まえた地域社会に対する学校の役割等、学校の果たすべきことは多種多様化しています。

奈良県では、昨年度より「学校・地域パートナーシップ事業」が始まり、各学校においても、「地域と共にある学校づくり」推進のため、地域教育力の向上を図る取り組みが進んでいます。

学校の取り組みにおいて学校事務職員は、教育行政の担い手として、自らの役割を自覚するとともに、何ができるか、何をすべきか考えていかなければなりません。

めまぐるしく変化している状況の中、経験豊かな世代の知恵・知識を若い世代に引き継ぎ、視野を広げ、資質向上と共に教育理解・経営参画を積極的にしていけるように、事務研究会のネットワーク力の強化に努めています。

県事研では、研究主題に迫るため、次の3点を具体的目標として定めています。

事務部組織の確立
(学校の中での組織化)

学校事務力の向上
(学校間連携によるマネジメント力の強化)

地域連携推進への参画
(地域と共にある学校づくりに向けての取組)



研究会活動としては、支部活動の充実・交流と専門部活動の充実を活動の柱としています。事業としては年2回の研修会、新規採用事務職員フォローアップ、校長会・教頭会・事務研究会合同会議を行っています。そして、第41回研究大会を平成26年11月28日、奈良県橿原文化会館に於いて開催します。また、昨年度よりランドデザイン策定委員会を設置し、学校事務・事務職員の将来構想を明確にしていくために中・長期的な研究計画を策定しています。

大阪府公立学校事務研究会

1 基本研究

(1) 研究テーマ 『これまでの共同実施とこれからの展望』

サブテーマ マップでみる大阪の共同実施

(2) 研究内容

現在、府内において学校事務の共同実施が推進されています。その組織形態は各市町村の学校教育の特色を取り入れたさまざまなものとなっています。昨年度、研究部が府内各市町村教育委員会に対し共同実施に関するアンケート調査を実施しました。

その結果をふまえ、今年度は府事研においてこれまで研究を進めてきた「学校事務職員の組織化」についての研究成果を基盤に、「大阪の共同実施」についての研究・考察を進めていきます。

2 総務部

次のことを行います。

- (1) 研究会活動計画と具体運営計画
- (2) 関係機関、団体との連絡調整
- (3) 広報紙「府事研だよりMOZU」の発行
- (4) 事業推進に必要な調査統計
- (5) 本会の活動の記録保存



3 研修部

(1) 体系的研修制度の研究を行います。

(2) 下記の日程で2回の現任者研修講座を企画します。アンケート内容の分析に努め、ニーズや今日的課題に即した内容となるよう企画するとともに、グループワークや事例演習を取り入れた参加型の講座となるよう工夫します。

(3) 新規採用学校事務職員研修講座は、コミュニケーション力アップやチームワーク力アップをめざし、グループワークを取り入れた研修講座を企画・運営していきます。

(4) ステップアップ研修講座を企画・運営していきます。今年度は、採用2年目を対象とした研修を1回行います。

(5) 新規採用臨時的任用職員研修講座を開催します。

〈現任者研修講座の予定〉

- ・第65回研修講座 2014年（平成26年）7月1日 アウリーナ大阪
- ・第66回研修講座 2015年（平成27年）2月2日 アウリーナ大阪

〈新規採用学校事務職員研修講座・新規採用臨時的任用職員研修講座・ステップアップ研修講座の予定〉

- ・平成26年度 第1回新規採用学校事務職員研修講座・新規採用臨時的任用職員研修講座
2014年（平成26年）6月17日 アウリーナ大阪
- ・平成26年度 ステップアップ研修講座（経験年数2年目対象）
2014年（平成26年）10月21日 アウリーナ大阪
- ・平成26年度 第2回新規採用学校事務職員研修講座
2015年（平成27年）1月22日 アウリーナ大阪

4 第23回大阪府公立学校事務研究大会の開催

第23回大阪府公立学校事務研究大会を以下のように開催します。近畿各地より多数の参加をお待ちしています。

(1) 開催日 平成26年11月14日

(2) 会場 エルおおさか（大阪府立労働センター）

(3) 内容 ①記念講演 「学校経営における学校事務職員の役割」

講師 相模女子大学 講師 長谷川 邦義 様

- ②研究発表1 大阪府公立学校事務研究会 研究部
『これまでの共同実施とこれからの展望』
～マップでみる大阪の共同実施～
- ③研究発表2 寝屋川市立中学校区事務連携推進会議
『学校・家庭・地域 ― つながる意味について』
～地域に支えられる学校になるために～
守口市教育研究会 事務部会
『未来に つなげる学校事務絵を』
～守口市の教育研究会活動と共同実施～

京都市立学校事務研究会

本研究会は目指す学校事務職員像を明確にし、各部局・支部が連携しながら研究会活動を進めていきます。

目指す学校事務職員像

- 教育行政職としての専門性を活かし学校経営に参画していく学校事務職員
- 学校の経営力や教育力向上に必要な役割を担う学校事務職員
- 「学校内外の情報」をマネジメントし、戦略的に実践していく学校事務職員

1 活動方針

- (1) 学校事務職員の存在意義を明確にする研究
- (2) 学校事務の機能強化と組織化の研究
- (3) 学校事務職員の資質向上に向けた取組の推進（人材育成）

2 各部局方針

(1) 研究部

学校事務職員は単に事務処理を行うのではなく、学校長の教育ビジョンのもと、子どもたちや保護者、地域のニーズに応えながら教育環境の整備を図り、財務事務の統括者として教職員と連携しながら学校経営に参画しています。今後も私たち学校事務職員は行政職としての専門性を活かし、学校経営の企画段階から能動的にかかわる必要があります。そこに存在理由があるのではと考え「学校にいてこそできる、これからの学校事務職員の役割は何か」を研究していきます。

(2) 研修部

行政職としての専門性を活かして、学校財務から学校経営に主体的に参画する事務職員を目指し、学校に必要な存在としての力量を高める研修の充実を図ります。

学校の教育力向上のため、教員の事務負担を軽減させ、事務職員の仕事の幅を広げることを目指すとともに、現在稼働している各種システムについて、より効果的な活用方法がないか課題等を洗い出し、解決へ向けて考察します。

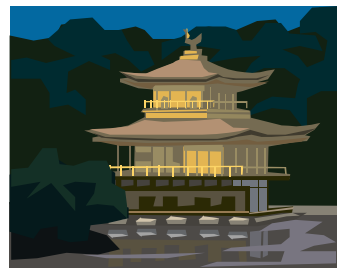
(3) 事務局

庶務的事項・事業的事項・広報的事項・財務的事項についての事業を円滑に行うための活動をします。充実した研究会活動を推進するため、各部や各支部等の連絡・調整を図ります。また、関係機関や他府県の研究団体等との連携を図り、会員に情報提供できるよう広報活動の充実に努めます。

3 研究大会の実施

平成26年度 京都市立学校事務研究大会の開催

期日 平成26年12月12日（金） 場所 京都市総合教育センター



神戸市小中学校事務職員研究会

神戸市立小中学校事務職員研究会は、「神戸市立小学校事務研究会」と「神戸市立中学校事務職員会」で構成されており、日常の活動は個々に行っています。

【神戸市立小学校事務研究会】

神小事研では、「第2期神戸市教育振興基本計画」を実現するため、私たち学校事務職員が研修や研究を行い

資質を高めるとともに、今後すべての校種における事務職員の連携を深め、情報や意識を共有しながら、広く神戸の教育を支援していきたいと考えています。



そして、今後も財務・情報を学校事務職員の中核的業務に位置づけ、研究会活動の基盤である区会活動のさらなる活性化を図り、その成果を共有して学校事務の適正化・効率化・標準化を目指します。また、本年度は60周年という節目を迎え、これまでの活動を振り返り、今後発展させる機会とします。平成27年2月10日(火)には、神戸市総合教育センターで研究大会を開催します。

(神小事研HIP <http://www2.kobe-c.ed.jp/jimu-es/>)

【神戸市立中学校事務職員会】

一昨年より組織改正が行われ神戸市立中学校事務職員会は幹事合議制を中心として組織運営を行うようになりました。また活動の重点を各区の研修に置くことに決まりました。平成26年度は、めまぐるしく変化する学校事務処理に対して上記に述べたように区会活動を中心に事務職員の連携を深め、またその中で各人の事務能力を高め学校運営に参画できる事務職員を育てることを目標に、その育ちの支えとなるような活動を目指していきます。その一方小学校・特別支援学校の各事務研究会、事務職員会との連携を深め、神戸の学校事務職員としての共通認識を深め、市への移管に対してもすばやく対応できる会を目指していきます。

滋賀県公立小中学校事務研究協議会

滋賀県公立小中学校事務研究協議会(以下:滋事研)では、「創造しよう!教育を活かす学校事務を」一経営スタッフとしての力量を高めよう一をテーマとして研究会運営を行っています。

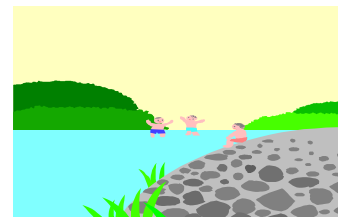
1 滋事研研究大会について

(1) 第43回研究大会について

第43回研究大会は湖北ブロックが主管し、開催します。

大会テーマ「未定」

1. 期日 平成26年12月5日(金)
2. 会場 滋賀県立男女共同参画センター
3. 内容 全体会・分科会(湖南ブロック・役員会)



2 特別委員会の活動について(滋賀県学校事務ランドデザイン策定委員会)

社会環境や学校を取り巻く状況が大きく変化している中で、めざすべき学校事務像・事務職員像を示すとともに、本会の活動指針となる「ランドデザイン」を策定するため活動を進めます。

3 専門部・事務局活動について

(1) 研究部

学校と地域の連携を考えるにあたって、学校からの視点でなく地域からの視点から探っていく必要性を強く感じました。地域の中にある「公立学校」としての存在意義を考えてみることにより、地域からの視点を取り入れた「学校づくり」とは何か、その中での学校事務職員の役割・機能を探っていきます。また、共同実施において「地域連携業務」をどのように推進していくのか、これからの共同実施の方向性と合わせて考えていきます。

(2) 研修部

初任者研修は、年間3回実施し、県総合教育センターの研修と合わせて体系化させたものになるよう努めます。また、全体研修については、年間2回の研修講座を実施します。子どもたちの豊かな育ちのために、会員がキャリアに応じた役割を認識でき、日々の実践やキャリア形成につながるような研修を実施します。

(3) 広報部

広報紙「さざ波」を年間2回発行し、滋事研のWebを定期的に更新していきます。

「滋事研のWeb(<http://www.ex.biwa.ne.jp/~shijiken/>)」

滋事研の活動や会員による実践報告、学校事務に関する様々な情報を提供していく予定です。

(4) 事務局

事務局では、滋事研webに掲載している「学校事務ハンドブック」の内容更新に取り組むとともに、今年度は項目等を見直しながら更に記載内容の充実を図っていきます。

また、事務職員の実態を把握するため、会員調査を行います。

第12回近畿地区公立小中学校学校事務研究大会神戸大会

平成25年1月11日よりスタートした研究大会実行委員会。各加盟研究会より集まったメンバー全員で「近畿はひとつ」の名のもと会議を重ねてきましたが、いよいよ大会も目前に迫り、気を引き締めながら鋭意準備にあたっているところです。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成26年8月19日(火)
9:15~16:40
会場 神戸新聞松方ホール

第6期近事研調査研究部研究報告
「学校事務を未来につなぐⅡ」
 奈良大会での研究を引き継いで、「信頼」をキーワードとし、次世代に何を
 つなげていけるのかを探ります。

9:15 9:45 10:30 10:40 11:40 12:30 13:45 16:40

| | | | | | | |
|----|------|---------------|---------------|----------------|------|-----------|
| 受付 | 開会行事 | オリエン テーション | 文部科学省 行政説明 | 近事研調査 研究部報告 | 昼食休憩 | 全体会 |
| | | | | | | 講演・シンポジウム |

全体会テーマ 「これからの学校と事務職員の役割」

- 講演 兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 教授 日渡 円 様
- シンポジウム
- コーディネーター 兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 教授 日渡 円 様
- シンポジスト
- 読売新聞東京本社調査研究本部主任研究員
- (元教育ルネサンス担当編集委員) 中西 茂 様
- 大阪市教育委員会 学校事務指導主事
- (大阪市立安立小学校 事務主幹) 藤原 義朗 様
- 芦屋市立潮見中学校 学校副主幹
- (全国公立小中学校学校事務職員研究会 副会長) 鳥本 安博 様

学校・教育・私たちを取り巻く現状とは。学校事務職員のあるべき姿とは。これから期待されるものとは何かなどについて語っていただきます。



神戸は港とともに発展してきました。さまざまな人・物・文化・情報が神戸港から入り、拓かれていきました。「私たちもここから何かを発信したい！事務職員としての未来を拓きたい」という思いを大会テーマに込めました。